

# 「水辺の小さな自然再生」事例紹介

記入年月 2018年10月

都道府県名	北海道		河川名	創成川					
事例タイトル	石を不規則に配置した多様な流れと魚の隠れ家づくり								
写真									
水系名/河川名	石狩川水系/創成川		場所	北海道札幌市中央区					
位置情報 (緯度経度)	43.061387, 141.357041		活動開始年	2017年					
活動概要 (経緯・目的等)	<p>豊平川の河川水を導水している創成川の大通公園東側区間は、階段広場が整備され、水辺に近づけるようになっている。しかし、河床が平坦であるため水の流れが一様であり、魚類の生息にはあまり適していない状況であった。一方、その下流区間では水草が繁茂し、多くの魚が生息していることが調査によって確認された。そこで、親水広場付近でも生物を観察できるよう、「流速に変化をつけて自然河川の流れに近づけること」「魚の隠れ家を形成すること」によって、簡易的に魚の生息環境を造成することを旨とした石置き整備を行った。</p>								
再生の手法	簡易魚道		簡易水制 (巨石・ブロック)	○	バープ工 (上向き水制)	○	石倉かご・竹蛇籠		植生ロール・ポット
	魚道改良		たまり・わんど造成	○	河床攪乱		その他 (記述)		
実施体制 (活動の担い手)	市民・市民団体	○	河川管理者 (国)		河川管理者 (都道府県)		河川管理者 (市町村)	○	河川管理者以外の地元自治体
	大学・研究機関	○	学校 (小中高)		企業		その他 (記述)		
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該区間の地下には車が通るアンダーパスが通っており、河道の大幅な変更や重量のある構造物の設置は困難である。また、都心部の公園区間であるため、治安や景観への配慮も必要であり、植物を生やすような整備はできない。さらに、周辺道路は交通量が多く、河川沿の敷地余裕も小さいことから、重機等による作業も困難である。このように制約が多いことから、人力施工が可能な簡易的な石置きによって川の流れに変化をつけ、魚が生息できる環境を作った。</li> <li>・極力自然な状態に近づけるよう、参加者の創意工夫によって石の不規則な配置を行った。</li> <li>・効果を検証するため、魚類の種数・個体数、河川環境 (水深・流速) について、事前調査 (Before)と事後調査 (After)、石置き整備箇所 (対象: Impact) と現状の単調な箇所 (対照: Control) の比較する調査を実施した。</li> </ul>								
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流れてくるゴミ等が置いた石に引っかかりやすくなり、景観上で課題となっている。</li> </ul>								
効果 (直接的な効果・間接的な効果)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査結果より、生息する魚類の個体数及び種数が増加したことが確認された。</li> <li>・都心部河川にも魚が生息していることを知ってもらったため、今後、子ども向けの生物観察会の実施を予定している。</li> </ul>								
関連URL等									